

第1回「日本語大賞」

テーマ 「人と人をつなぐ日本語」

小学生の部 優秀賞 受賞作品

「言葉って不思議だな」

山形県

山形市立西山形小学校 5年

安達 栞

言葉って不思議だな

山形市立西山形小学校 五年

安達 栞

今年の七月に、二泊三日の宿泊学習がありました。わたしはB班の班長になりました。

一日目は、東黒森山ウォークラリーがありました。配られた地図だけを見ながら山に登って帰ってくるのです。

わたしは、班長になったので先頭に立って道に迷わず、みんなをまとめて歩いていかなければならない、という責任を感じながら歩いていました。ところが、最初からまったく違う方向に行ってしまうました。しばらく歩いて、ようやく違う方向に来ていたということがわかりました。わたしは、みんなに

「班長なんだから、ちゃんと地図を見てよ！」

「こっちゃん！ どご見てんの！」

などとせめられてとても落ちこんで、涙がこぼれそうでした。でも、その時副班長が

「大丈夫。ぼくたちも気づかなかつたのが悪いんだから、やり直せばいいさ」

と優しく言ってくれました。わたしは「やり直せばいいさ」の一言で、とても助けられた気持ちになり、楽になりました。

わたしは、どんなことにも一生けん命に取り組もうとしてしまいます。失敗するのがいやだからです。相手の人にせめられたり、わたしがまちがってしまったて悪かったなあと思ってしまうからです。だからいつもしんちょうにまちがわないにしようとしてしまいます。副班長が言った「やり直せばいいさ」という言葉は、考えたことはありませんでした。わたしは言葉って不思議だな、こんな小さな一言で、こんなに助けられるんだもん、と思いました。

この一言のおかげで、無事に山に登って、帰ってくることができました。とても思い出に残る楽しい登山でした。今度は、わたしが落ちこんでいる人や困っている人がいたら、相手の立場になって、助けられるような優しい言葉をかけたいです。そして、わたしはこの「やり直せばいいさ」をときどき思い出して、チャレンジしていくことを大事にしていきたいと思います。